

## 少林寺拳法で リフレッシュしています。

公認会計士・税理士 尾形 省二

私は、平成二十五年四月から貴協会の会計顧問を務めています。

会計顧問になる前、大型トラックのイメージは、我が家が国道四号線の福島南バイパス沿いにあったこともあり、威圧感が強くありました。ゴーゴーと疾走してくるし、ラジオ放送に飛び込んでくる無線の話し声には、半端なく閉口しました。

そんな思いのあるときに、貴協会の前会計顧問の税理士から引継ぎの話があり、引き受けました。そうになると、大型トラックにも親近感が湧き、ドライバーの皆さん「ご安全に」と思うようになりました。

また、平成五年、我が家の代替わりに際し、交通量の少ない県道沿いに移転しました。移転してから、宅配等でお世話になっているY社のH〇氏の明るく丁寧な対応や、後任者で近所に住んでいるH a氏から受ける安心感と信頼感からトラックのイメージが更に良くなりました。特に、H〇氏は、荷物や送り状の受け渡しの際に、玄関の土間に片膝をつくのです。大柄な体躯ながら、優しく丁寧な振る舞いには、たいへん恐縮しました。立派な人だなと感じ、配送に来てくれるのが楽しみになっていました。

さて、公認会計士や税理士の仕事は、期限がある仕事なので、万障繰り合わせて対応する繁忙期があります。このため息抜きも必要です。人それぞれに対処しているのですが、私は四十五年続けてきた少林寺拳法の修練がその手段です。会計顧問が縁となり、貴協会のレクリエーション施設（体育館）をお借りすることができてから、もう十年が経ちました。

現在の修練時間は土・日の午後ですが、以前は、アフター5を狙って、夜間の修練をしていました。そのころ、「この体育館には主がいる」と感じることはありません。十年前の福島は、原発事故の影響で、多くの市民が外出を控え、そのため、新入門者などは無く、参座する拳士も少ない状況でした。そうすると、夜の体育館は物音が響くものです。そして、決まって木が割れるような破裂音が聞こえました。それからは、体育館の神様（主）に挨拶をして使わせてもらっています。

少林寺拳法は裸足で動くので、修練の前にアルコール除菌シートで拭き掃除をして

います。ところが、私がお借りするようになった頃は、ある団体が土足で使用するという、武道の修練をする者としては、心外極まりない驚きの事態が起きていました。神聖な修行の場を汚された思いでした。アリーナばかりでなく、階段やホールも同様に汚れていたのは言うまでもありません。床が砂っぽいと滑って危険なうえ、帰宅して風呂へ入ろうとすると、足跡が真っ黒になる始末でした。

このことを管理担当者に伝えると、「土足厳禁」を徹底してくれました。これで体育館の神様が安心したのでしょうか、あの破裂音を耳にしなくなりました。

自分の人生に、やり遂げたいものがあつて取り組めたら最高ですね。私は、少林寺拳法を生徒続けたのですが、体はいつまでもつのでしょいか。そんな不安を和らげるのが、「少林寺拳法で介護ができる」というものです。これは、少林寺拳法が、力に頼らず理法に基づく技だから「倒すことができる」なら「起こすこともできるはずだ」と考えて実用化されたものです。

私は、少林寺拳法連盟の「介護技術マイスター」を取得し、介護施設や民生委員の研修などで「腰を痛めない介護の技術」を伝えています。私で役に立てるならうれしいです。声を掛けてください。

これからの社会を担うドライバーの皆様へお伝えしたいことがあります。今、トラック業界は、たいへんな時期を迎えています。世間は、トラック運転手のマナーに敏感です。気持ちの良い社会が持続するように、「これぞ、プロのマナーだ」と一般市民の方が感動する運転をこれからも続けてください。

そして、自分の幸せが第一ですが、余裕があれば他の人の幸せも我が事のように考えられる心を養う少林寺拳法を知っていただきたいと思えます。人間は、心と体が別々に存在しません。一体ですから、共に修練することが大事です。そして、社会と繋がっていることを意識して修練しますから、護身練胆、精神修養、健康増進の三徳があります。

こんな少林寺拳法が、身近な貴協会の体育館で修練できます。是非、お立ち寄りください。

以上、私のリフレッシュ方法を述べさせていただきました。

合掌



▲体育館での修練の様子



▲「腰を痛めない介護の技術」についての研修を実施しています。